

NEWS RELEASE

2007年3月29日

各 位

会 社 名 株式会社フライトシステムコンサルティング
代表者の役職氏名 代表取締役社長 片山 圭一朗
(コード番号:3753 東証マザーズ)
問 い 合 せ 先 取 締 役 松 本 隆 男
金(こん) 浩 樹
電 話 番 号 03-3440-6100(代)

平成19年3月期 通期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ

株式会社フライトシステムコンサルティング(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 片山 圭一朗 以下当社)は、最近の業績の動向を踏まえ、平成19年2月13日に公表しました業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 平成19年3月期通期(連結・個別)業績予想の修正

(1) 連結業績予想

通 期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	3,360	40	△64
今 回 修 正 予 想 (B)	3,060	△120	△190
増 減 額 (B-A)	△300	△160	△126
増 減 率 (%)	△8.9	—	—
前期実績(平成18年3月期)	1,843	21	8

*平成18年3月期第4四半期より連結財務諸表を作成しているため、平成18年3月期実績については、平成18年1月1日から平成18年3月31日までの3ヶ月の子会社及び持分法適用関連会社の損益を連結しております。

(2) 個別業績予想

通 期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	1,650	50	△52
今 回 修 正 予 想 (B)	1,565	3	△74
増 減 額 (B-A)	△85	△47	△22
増 減 率 (%)	△5.2	△94.0	—
前期実績(平成18年3月期)	1,431	27	24

2. 平成19年3月期通期(連結・個別)業績予想の修正理由

(1) 連結

業績予想の修正は主として、①大型案件の受注(又は納期)が期ズレとなったこと、②複数の案件で想定外の追加工数が発生し採算が悪化したこと、③上期の特別損失に計上した大型案件に想定外の人的リソースを投入した結果、売上を見込んでいた他の案件を計画通り進捗できなかったことにより機会損失が発生したこと、及び④失注等によるものであります。

これにより、売上高が当初予想比300百万円減の3,060百万円、経常利益が当初予想比160百万円減の△120百万円及び当期純利益が当初予想比126百万円減の△190百万円となる見込みであります。なお、それぞれの影響額は以下の通りです。

<業績予想の修正理由の主な内訳>

(単位:百万円)

項目	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(平成19年2月13日時点)	3,360	40	△64
①大型案件の受注期ズレ(子会社)	△100	△55	△35
②複数の案件で想定外の追加工数が発生したことによる採算悪化(子会社)	—	△45	△30
③上期の特別損失に計上した大型案件に想定外の人的リソースを投入した結果、売上を見込んでいた他の案件を計画通り進捗できなかったことによる機会損失(親会社)	△70	△25	△15
④失注その他	△130	△35	△46
修正理由 合計	△300	△160	△126
今回発表予想(平成19年3月29日時点)	3,060	△120	△190

(2) 個別

通期予想の経常利益50百万円を達成すべく努力してまいりましたが、上期の特別損失に計上した大型プロジェクトに想定外の人的リソースを投入したため、売上を見込んでいた他の案件を計画通り進捗させることができませんでした。そして、結果として多額の機会損失が発生することになり、上期の損失をリカバーする水準まで今一步届かなかったこと等により、売上高が当初予想比85百万円減の1,565百万円、経常利益が当初予想比47百万円減の3百万円及び当期純利益が当初予想比22百万円減の△74百万円となる見込みであります。

今期の業績の低迷は、一過性の問題と認識しており、来期はきちんと利益の出せる体制になるものと考えております。

3. 当期業績予想の分析と今後の対策について

(1) 想定外の追加工数発生によるプロジェクト採算の悪化

大多数のプロジェクトは、当初計画通り一定の利益率を確保していますが、いくつかのプロジェクトに

において想定外の追加作業が発生し、プロジェクトの採算が当初計画を達成できない結果に至りました。

また、上期の特別損失に計上した大型プロジェクトに想定外の人的リソースを投入したため、売上を見込んでいた他の案件を計画通り進捗させることができず、結果として多額の機会損失が発生することになり、当期業績の悪化の大きな原因となりました。

来期は、組織体制の大幅な変更を実施し、プロジェクト管理をより厳格化するために各プロジェクトの進捗・採算管理を徹底することにより、効果効率の高い企業体質への転換を図ってまいります。

(2) JPEG2000 開発費

当社グループの当期における JPEG2000 関連の開発費は 50 百万円の見込みです。

開発した JPEG2000 関連の新製品は、立ち上がり若若干遅れているため、当期の連結売上高への貢献度は僅かですが、現在では多くの引合いがあり、受注を順調に伸ばしていることから、来期以降、売上として実現し、開発費の回収サイクルに入るものと考えております。

4. 新年度の役員報酬の減額について

上記の通り、通期業績予想の下方修正という状況を招くに至った責任を真摯に受け止め、当社グループを統括する当社代表取締役社長の片山圭一郎と、当社のプロダクト&サービス事業部を統括する取締役の村松典子の役員報酬を減額することを下記の通り決定致しました。

役 職	氏 名	減額割合	実施時期
代表取締役社長	片 山 圭一郎	3ヶ月分の報酬の20%	平成19年4～6月
取締役	村 松 典 子	3ヶ月分の報酬の20%	平成19年4～6月

注) 本資料に掲載しております数字は現時点での情報に基づき算出しておりますので、今後さまざまな要因により、数字が変動する可能性があります。

以 上

株式会社フライトシステムコンサルティング

本社：東京都渋谷区恵比寿 4-6-1 恵比寿MFビル 3F 電話：03-3440-6100 FAX：03-5791-2241

事業内容：デジタルコンテンツの管理・サービスを中心としたシステムコンサルティング、ネットワークやオブジェクト指向技術に関するテクニカルコンサルティング、システム開発・構築・保守と、それらを支えるソリューションプロダクツの提供。

URL：<http://www.flight.co.jp>

【 本件に関するお問い合わせ先 】

株式会社フライトシステムコンサルティング 担当：松本、金

電話：03-3440-6100 FAX：03-5791-2241

e-mail：info@flight.co.jp